

鳴門市 マイ・タイムライン作成講座 アンケート集計・分析結果

大規模氾濫に関する減災対策協議会における 「指定緊急避難場所」周知に関する動き

●R3.9 「吉野川洪水意識調査」

指定緊急避難場所の認知率が低い（中流：30.8%、下流：32.9%）

●R4.3 協議会の「取組方針」改定

「～最優先事項として、

それぞれの指定緊急避難場所の周知を徹底する必要がある～」

令和7年度末までに達成すべき数値目標として

「全ての市町において、指定緊急避難場所の認知率を8割まで引き上げる」

●R4.11 「指定緊急避難場所」周知徹底キャンペーンin上板町

実際に指定緊急避難場所に足を運んでもらうことで、災害時の避難先を知ってもらう事を目的としたイベントを開催。

●R6.2 つるぎ町住民向け マイ・タイムライン講習会

●R7.2 鳴門市 マイ・タイムライン作成講座

ひとりひとりの生活環境等に即したオリジナルの避難行動計画を作成し、事前に避難行動を考えてもらうことを目的とした講座をそれぞれ開催。

大規模氾濫に関する減災対策協議会における 「指定緊急避難場所」周知に関する動き

「マイ・タイムライン講習会」の開催

- ▶ 令和7年2月7日（金）に鳴門市役所にて、鳴門市自主防災会会長・鳴門市地域防災リーダー（防災士）の方などを対象に「マイ・タイムライン講習会」を開催しました。講習会では、はじめに徳島河川国道事務所からの趣旨説明と流域治水の取組の紹介、鳴門市職員によるハザードマップの解説が行われた後、講師の服部由佳気象予報士による近年の気象災害の情報についての講演が行われました。その後、参加者が「逃げキッド」を用いて一人ひとりの防災行動計画「マイ・タイムライン」の作成を行いました。
- ▶ 当日は約60名の方に参加いただき、作成中は同じ地区の方々とコミュニケーションを図りながら作成し、顔の見える関係づくりも同時に行うことで全体の防災意識の向上に寄与しました。



▲服部気象予報士の講演の様子



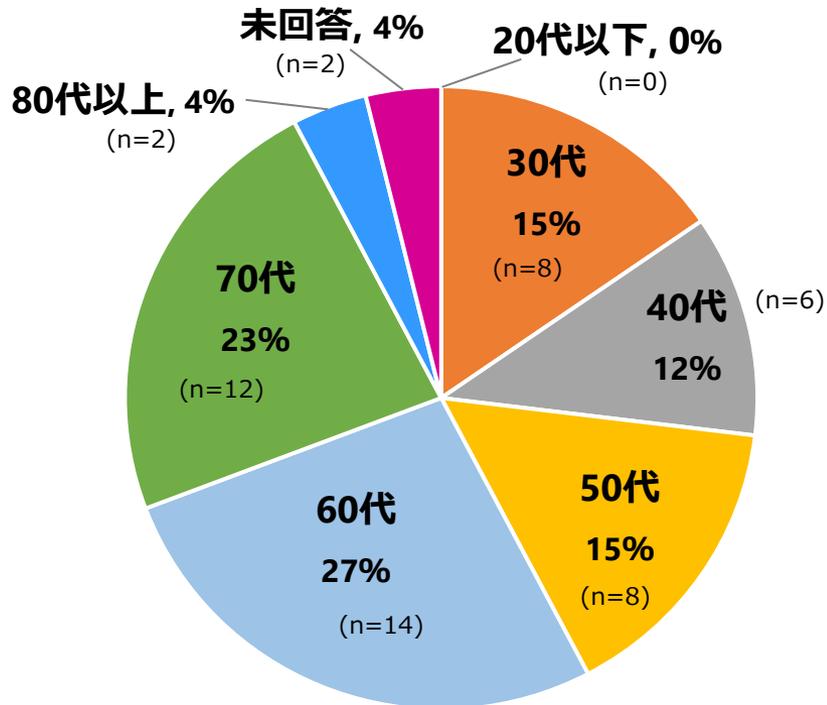
▲マイ・タイムライン作成中の様子

鳴門市マイ・タイムライン作成講座 アンケート実施概要

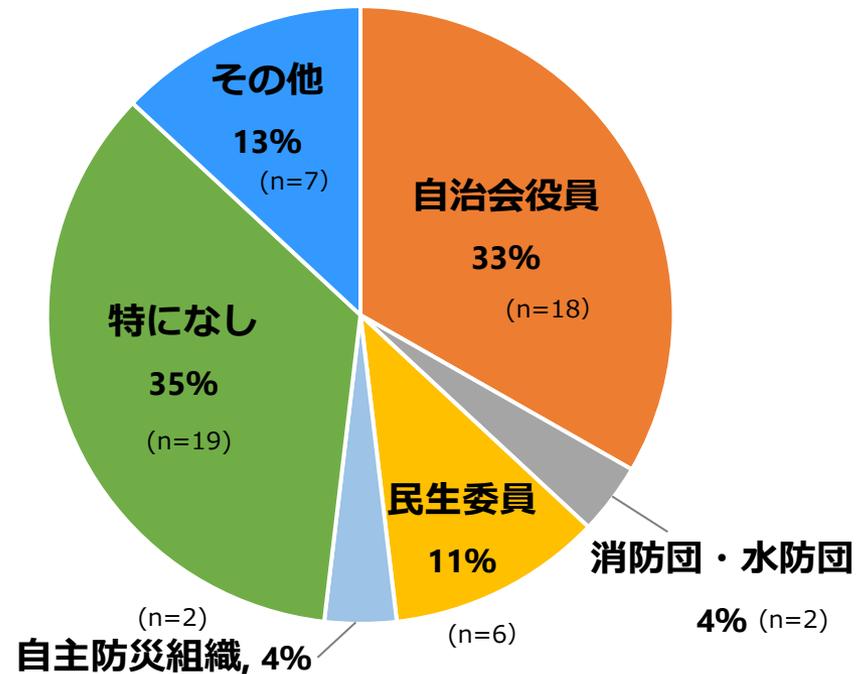
【開催日時】 令和7年2月7日（金）13時30分～16時00分

【開催場所】 鳴門市役所2階大会議室

参加者の年代



地域での役割（複数回答）



※以降のアンケート結果は、質問ごとの有効回答数（未記入を除く回答数）が異っているため
n 値の合計は集計ごとに異なります。

鳴門市マイ・タイムライン作成講座

アンケート実施概要

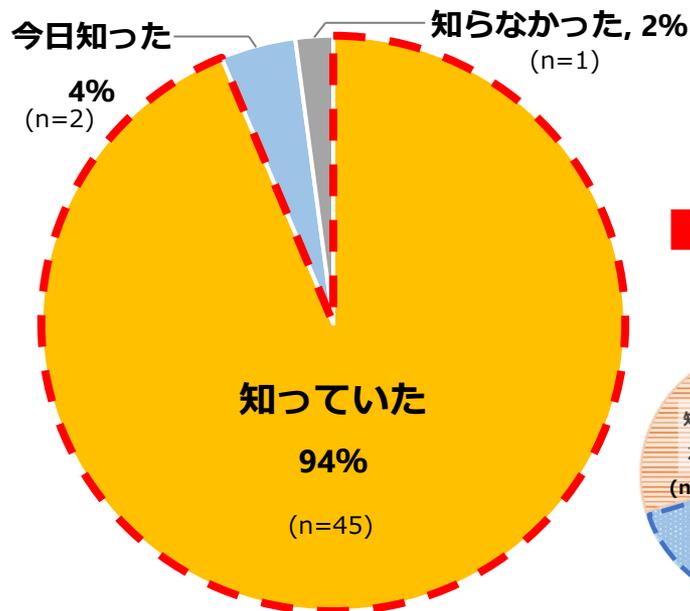
<質問>

- ▶自分または家族が避難する「指定緊急避難場所」をご存じでしたか
 - ↳指定緊急避難場所は、災害の種類（洪水、地震など）ごとに場所が指定されていることをご存じでしたか

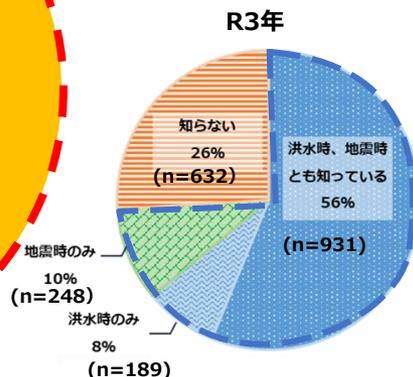
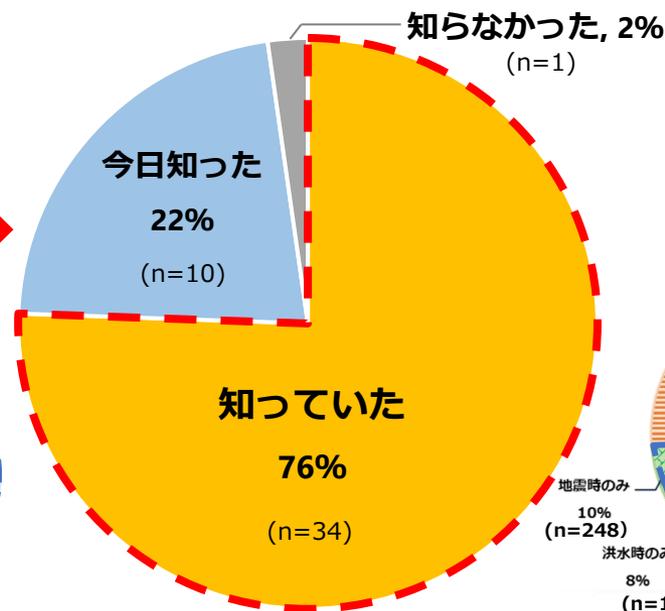
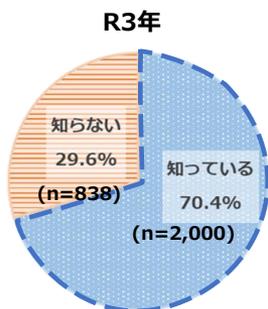
令和3年実施の「吉野川洪水意識調査」アンケートと比較

※右下のグラフは令和3年実施の「吉野川洪水意識調査」アンケート結果をもとに作成

自分または家族が避難する「指定緊急避難場所」



指定緊急避難場所が災害の種類ごとに場所が指定されていること



- 令和3年実施の「吉野川洪水意識調査」アンケートと共通している質問について結果を比較したところ、防災従事者であるという点を除いても、「指定緊急避難場所」は一定の認知度を得てきていると思われた。
- ただし、指定緊急避難場所が災害の種類ごとに場所が指定されていることについては、認知が進んでいない面もうかがえたが、本講習会を踏まえ9割以上の参加者に知ってもらうことができた。

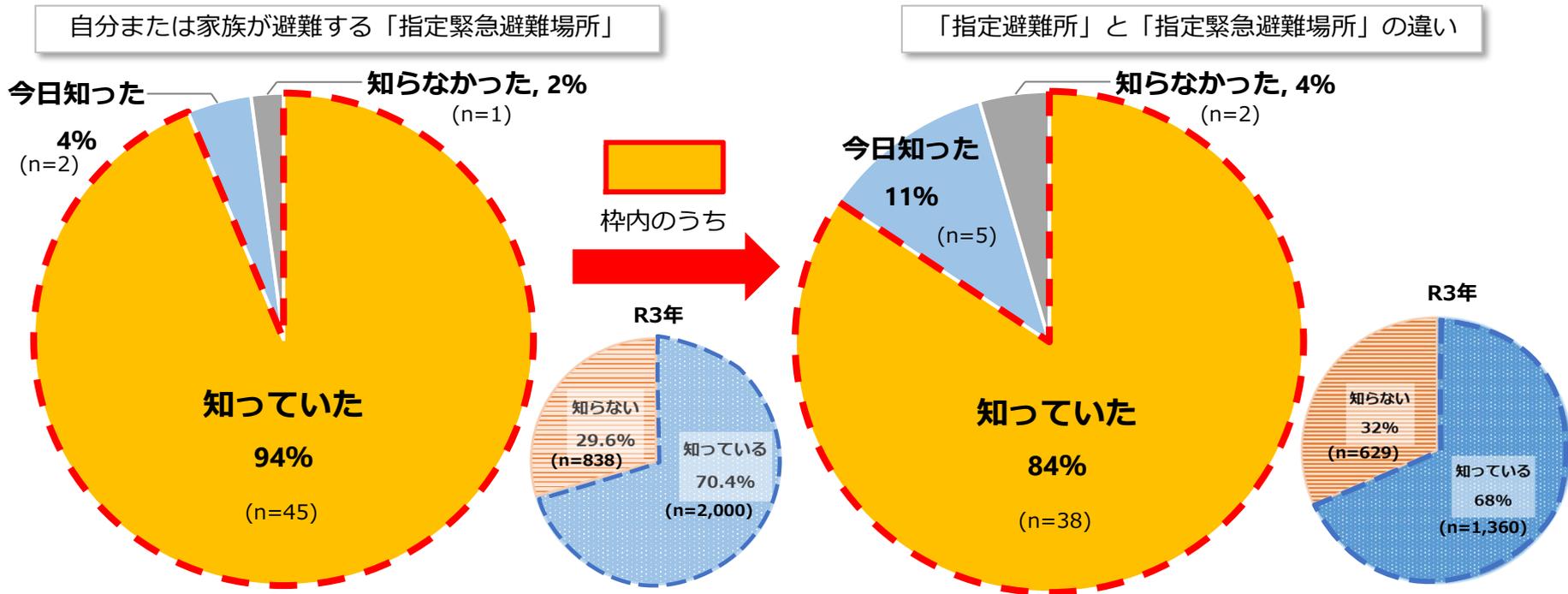
鳴門市マイ・タイムライン作成講座

アンケート実施概要

＜質問＞ ▶自分または家族が避難する「指定緊急避難場所」をご存じでしたか
 ↳「指定避難所」と「指定緊急避難場所」の違いはご存じでしたか

令和3年実施の「吉野川洪水意識調査」アンケートと比較

※右下のグラフは令和3年実施の「吉野川洪水意識調査」アンケート結果をもとに作成

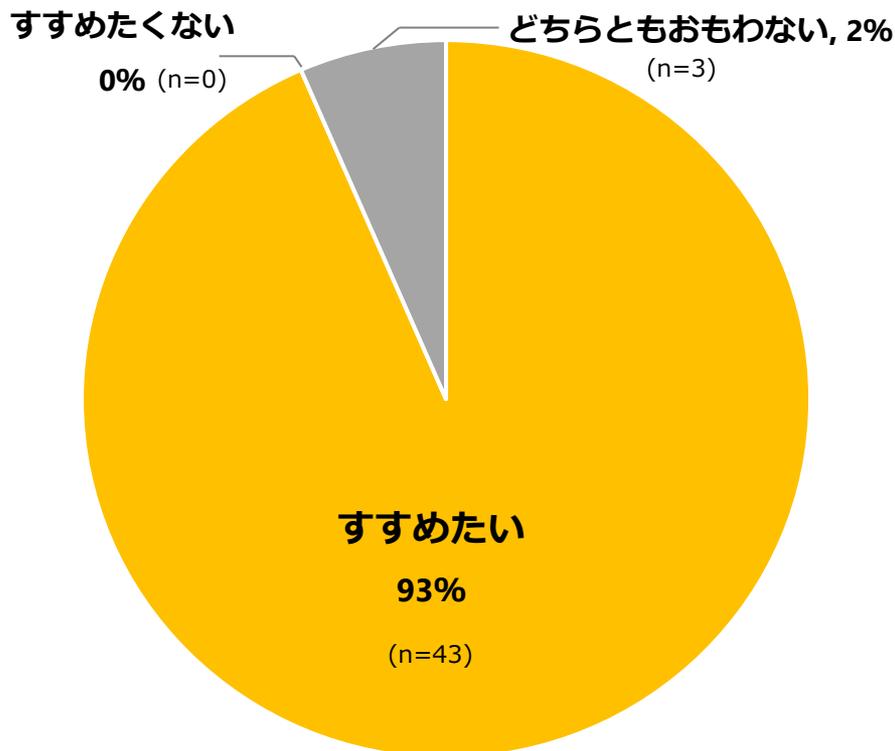


○回答の傾向を令和3年に実施した「吉野川洪水意識調査」アンケートと比較すると、指定緊急避難場所自体に関する認知度と、指定避難所との差異についての理解は、共に上回る結果となった。このことから、指定緊急避難場所に関して正しい認識を持った方が増加傾向にあると想定された。

鳴門市マイ・タイムライン作成講座 アンケート実施概要

<質問> ▶ 気象予報士（水害等の専門家）による講習会を家族・近所・友人にもすすめたいと思いますか

他の方にすすめようと思うか



○ イベントを他の方にすすめたいという意見が多数占めていることから、イベントの満足度が高かったことが伺える。

【いただいたご意見】（一部）

- ・ 分かりやすい説明で、防災に関して理解が進むと感じた。
- ・ 水害リスクを再確認した。
- ・ 家は水害リスクはないが、避難する先までの道が浸水する。（家の前）
- ・ ハザードマップで白い色の場所も危険であるということ。自分の住む地域の特徴をもっと知るべきだと思った。
- ・ マイ・タイムラインの意識を高め、広めることの大切さが分かった。
- ・ できれば、地区の自主防災会での取り組みを考えたい。

分析結果

- 本講座は鳴門市の自主防災組織等の防災従事者をメインターゲットとして実施したが、災害の種別ごとに指定緊急避難場所があることや、指定避難所と指定緊急避難場所の違いについて、「今日知った」という回答が一定数得られた。

⇒従事者のなかでも認知率に差異があると思われるため、
本講座のような正しい知識を伝達する機会は、さらなる認知率向上に向け、
一般住民向け等対象者を問わず継続的に実施することが望ましいと考えられる。